

暮らしを「豊かに」
「快適に」彩る！
というのがダイニックの
テーマです。

ごあいさつ

当社は、1919年にブッククロスの国産化をめざして京都・西陣に設立されました。長い歴史に培われた技術と、時代のニーズに応える新技術との融合によってダイニックの複合技術は構築されております。100年を超える「伝統と改革を組み合わせた技術力」で市場が求める製品をたくさん送りだしてまいりました。

ダイニックの製品は暮らしのなかでしっかりと根を張っております。たとえば家庭では床材や壁材にはじまり、書籍やアルバム、銀行通帳から、衣服の内素材、乳製品にまで……。戸外に出れば、車やトラックの内装材、イベント会場のテントやカーペット、オフィスでは空調フィルタから名刺やプリンターのインクリボンにいたるまで……。これらは一例にすぎません。

もともとはブッククロスと染色で出発した当社の基本技術は「コーティング」「カラーリング」「ラミネート」「エンボス」などですが、長い歴史はさまざまな周辺技術を生みだしました。培われた独自の技術に磨きをかければ、不可能はありません。

暮らしを「豊かに」そして「快適に」彩るというのがダイニックのテーマです。それゆえに、なおいっそう地球環境にやさしい企業活動につとめてまいります。

「環境」と創業以来深くかかわってきた「情報」をキーワードにして、常に時代のもとめる製品開発をめざします。

ダイニックは、国内・海外のグループとともに、「For The Customer」を合言葉に、時代に合ったモノづくりや、無限に広がる可能性をカタチにして夢ある未来を描いてまいります。



代表取締役社長 小田英伸

出版・文具 ファンシー製品

1919年、日本初のブッククロスが誕生し、それがダイニックの出発点となりました。以来、ダイニックの歴史はクロスと共にあり、クロスはダイニックの歩みと共に成長し、洗練され続けてきました。質量共に世界的なクロスメーカーと認知された現在、ダイニックのクロスは色彩・風合い・耐久性・加工性などいずれも最高水準の品質と、時代感覚を捉えた優れたファッション性を誇っています。

ブッククロスは用途に応じて豊富な素材・デザインを用意しており、どのような本にも最もふさわしいクロスを提供できるものと自信を持っております。

また、この技術を応用した分野に、ファイル・バイNDERなどの文具類、各種パッケージ素材などの紙工製品が挙げられます。さらには、ノベルティグッズなどのファンシー製品もカバーしています。

確かな技術に裏打ちされたダイニックのクロスは無限の可能性を秘めて、これからも成長していきます。

伝統が育んだクロス製品

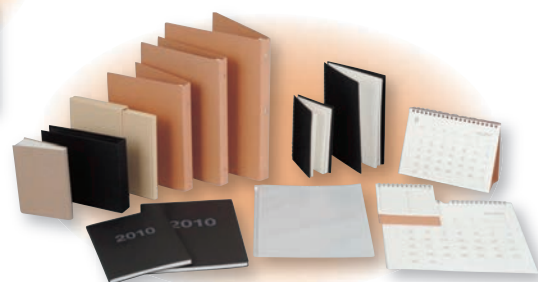


豪華本・一般書籍用クロス



パッケージ用クロス

ダイアリー・手帳用クロス



ファンシー製品



背貼り用クロス



ファイル・バイNDER用クロス



教科書用クロス

情報関連製品

情報産業は現代の社会生活に完全に浸透し、将来的にはさらに、その比重を増すものと考えられています。ダイニックは、情報伝達の媒材を最も効果的で説得力のあるものとするに、早くから意欲的に取り組んできました。

1932年から手がけてきたタイプライターリボンの技術を土台に発展させてきた各種プリンターリボンは、現在、内外から高性能・高品質を認められ、高い評価を受けています。

そして、オフセット印刷を可能とした革新的なフィルム素材・アリンダ(ALINDA)、アリンダを発展させた自販機用トップボードなど屋外でも使用できる耐水性を備えた高透明印刷用フィルムは、フィルム印刷のより自由な表現を可能にしました。

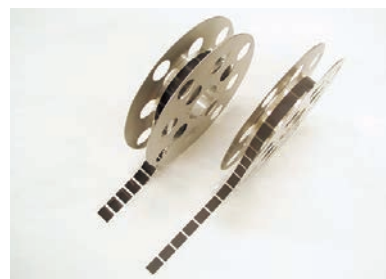
さらに、シートスをはじめとしたインクジェット用印刷素材や銀行通帳用クロス、有機EL用水分除去シート、磁気関連製品などの多彩な製品があります。特にユニークな製品として、手軽に本格的な名刺印刷ができる「名刺プリントシステム」は、中間素材としての製品が多い中、最終製品として開発された画期的なシステムとして注目を集めています。



熱転写リボン



シートス／
ニックセブン



有機ELディスプレイ用水分除去シート



磁気テープ



フィルム製品

名刺プリントシステム MP-300Duo



“誰でも簡単に必要なだけ”名刺を作成することができる、それが「名刺プリントシステム」MP-300Duoです。1200dpi相当の解像度でオフセット印刷にせまる美しさ。A4サイズのスペースに設置可能なコンパクトボディ。専用ソフトには自動レイアウト機能や異体字変換システムなど、本格的な機能が満載されています。

URL <https://www.dynic.co.jp/mp-net>

汎用性の高い「織らない織物」

不織布関連製品

ダイニックの強みは豊かな複合技術を有していることと自認しています。不織布はその象徴的な製品といえるでしょう。

不織布は「織らない織物」と呼ばれ、第二次大戦後の欧米で生まれた新素材です。ダイニックは1952〜3年頃この素材に着目し、早速生産ラインに取り入れました。以来半世紀、新たな工夫を積み重ねた結果、不織布はその素材としてのクオリティを高めると同時に、様々な技術と柔軟に結びついていき、応用範囲を大きく広げることとなったのです。

現在、代表的な用途としてはまず自動車関連が挙げられます。軽くて成形適性がよいという特性を持つ不織布は、車輛の軽量化、燃費の向上、騒音対策への有効性、生産性アップなどの自動車メーカーのニーズに応じて高い評価を受けています。

次に、フィルタ関連も自動車関連と並ぶもう一つの柱です。ダイニックの高機能フィルタは、空調用・自動車用・家電用の主要三分野で展開され、各分野で広く採用されています。

他にも、カレンダーなどの印刷素材、カーペットや吸音材などの住宅・インテリア素材、工業用資材など、実に幅広い分野で役立っています。



車の内装材



オフセット印刷用不織布
「パネロン」



パネロンカラーシート



フローリング裏材



各種フィルタ類



催事用カーペット

美しさと実用の追求



衣料関連製品

衣類の美しいシルエットを保つための手入れは、時間も手間もかかるため、忙しい現代の消費者はより手軽に安定した形状を保てる衣類を求める傾向にあります。そうしたニーズに応えた衣料用副資材が各種芯地です。

ダイニックは1950年代から衣料用芯地の研究・生産を行ってきました。現在、主な製品にはステープレックスやパネロンのような接着芯地、ウェルデックスやハロシェープのような衿芯などを挙げることができます。また、品質表示ラベル用素材のニックセブンやシータスなどもあります。

長年の技術の集積が芯地の総合化を実現した上、縫製技術の研究成果と融合してコーティング技術や縫製システムを前進させ、より優れた新製品の誕生へと結びついているのです。そしてそれはまた、アパレル産業の発展の一端を担って衣料縫製の生産性・機能性の向上に貢献することにつながっています。



接着芯地「ステープレックス」



ニックセブン



シータス

快適さはクオリティと共に

住宅関連製品

1日の多くの時間を屋内で過ごす人は少なくありません。それだけに、住環境の質の良さは人々の生活の中で大きなウェイトを占めているといえるでしょう。

ダイニックは床・壁・天井から、カーテン・ブラインドまで、インテリアの基幹ともいえる部分に力を置き、素材・デザイン共に豊富なバリエーションを取り揃えております。

中でも、ニードルパンチカーペットはダイニック固有の技術製法により、長年に渡る信頼を受けて業界でトップのシェアを誇っています。

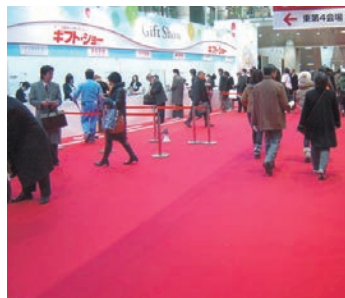
そしてもうひとつの主力製品として、各ブランドメーカーの注目を浴びているのが壁紙です。ダイニックのビニル壁紙は高発泡壁紙、中でもロクタリスクリーンタイプを得意としています。また、環境に配慮したマイナスイオン壁紙、健康志向に配慮した抗菌、抗ウイルス壁紙、破れに強いストレッチ壁紙なども好評です。製造のライン化の完成により、技術と生産システムの両面から付加価値の高い製品をつくり上げることが可能にしています。

これらの製品はまた、美しさや品質の良さのみならず、抗菌などの機能性やリサイクルへの対応などの「見えない付加」の充実も図っているのです。

一般家庭からオフィス、商業建築物にいたるまで、ダイニックの住宅用途素材は豊かに活かされています。



人工芝



催事用ニードルパンチカーペット



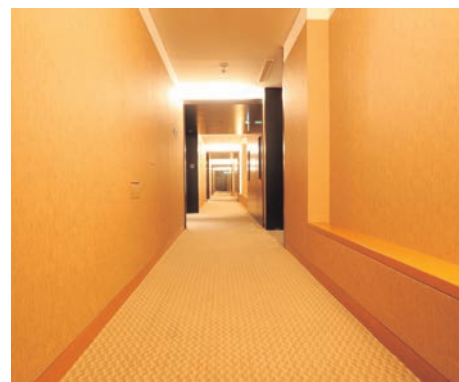
タイルカーペット



パーチカルブラインド



アコーディオンカーテン



壁紙

時代にフレキシブルな対応



工業用途製品

現在、工業用途製品の主流は産業用資材です。中でもターポリンは自由に形態を変えることができるため、極めて広い使用範囲をカバーしています。物流をはじめとして、工業、農業、水産業、土木関係などの多岐に渡る分野の中で、様々な用途で活躍しているのです。

また、その中の例を拾ってみると、フレキシブルコンテナ、各種シート類、送風管、幌などがあり、安全・強靱・軽量・腐食しないといったターポリンの特性が様々なシーンに役立っていることが分かります。加えて、色が鮮やかであるため、パビリオン用のテントや雨具などといった使われ方もしています。

またダイニックは、社会の高齢化・健康志向といった時代のニーズに応じて、シルバー産業やメディカル関連製品にも力を注いでいます。

介護用素材や、床擦れ防止エアマット、メディカルマッサージ器（エアバッグ）などが注目を集め、その良質でフレキシブルな製品展開が、この分野からの一層の期待を寄せられています。



防災用品



雨衣用ターポリン



ファッションバッグ



テント倉庫用ターポリン



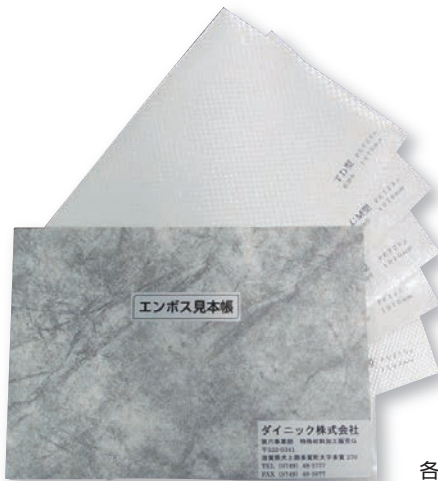
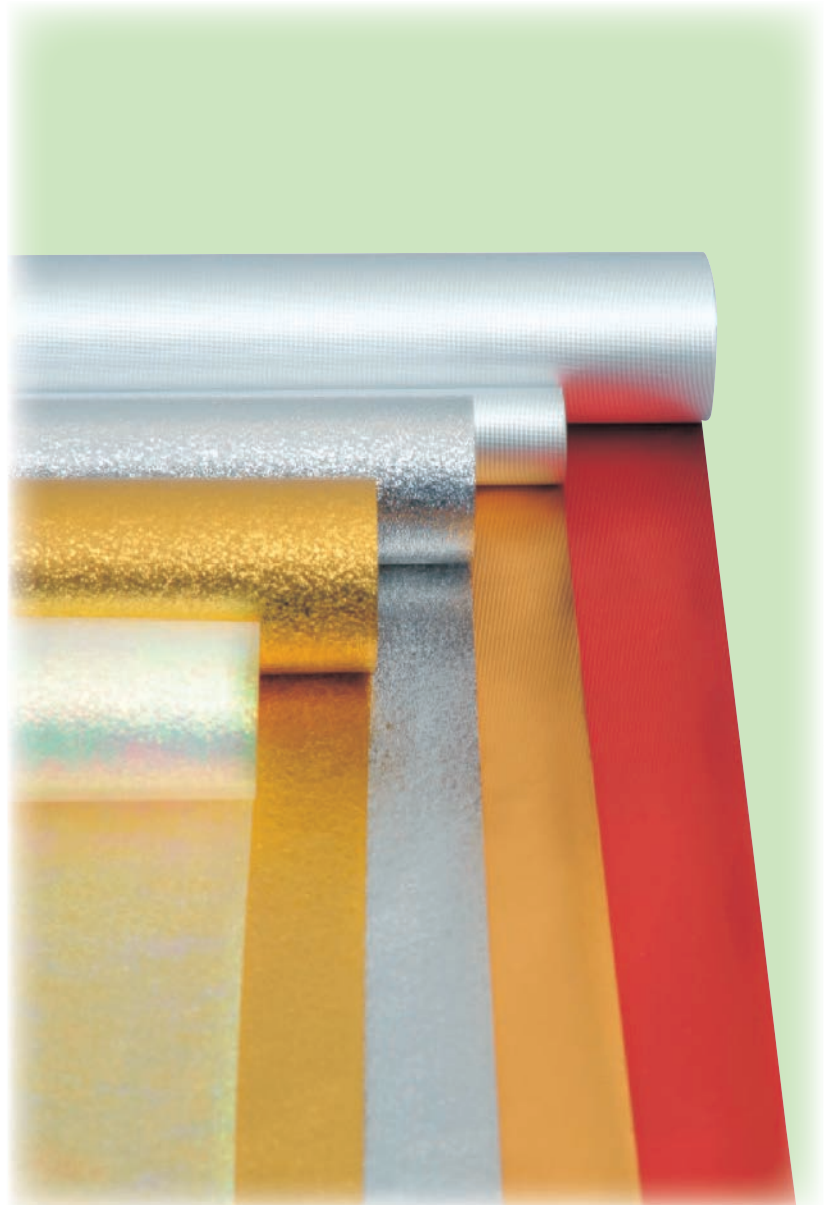
テント用ターポリン

特殊材料加工

特殊材料加工(エンボス、スリットなど)は、医療用フィルム、建材用アルミ箔、装飾用蒸着フィルム、金箔紙などに使われる技術で、基材に熱と圧力を加えることにより型や文字を付与します。この技術は製品に、外観イメージの向上、様々な機能の付加などのプラスアルファを与え、製品価値を上げることに貢献しております。

基材はアルミ箔やプラスチックフィルム(PET・PVC・ポリエチレンなど)から、紙、不織布など非常に幅広く適用することができます。このことは、この技術の活用に、まだまだ未知なる可能性が多く残されていることを示しているともいえるでしょう。

現在、産業用などのマクロな分野から、折り紙などのミクロな使用法まで、そのニーズを広げている特殊材料加工技術。ダイニックでは、より一層の可能性を求めて、さらなる研究を重ねています。



各種エンボス



折り紙



バップ剤の離型フィルム

新しい素材創りをめざす



気化性防錆紙



滑り止めシート



セラミックコート紙

包材関連製品

包材関連では、“環境にやさしく”をテーマに新鮮な発想で新しい素材創りをめざします。アルミ箔・フィルム分野では、分別廃棄処理を容易にした密封性と開封性を兼ね備えた食品容器用蓋材やインナーシール、さらに剥離紙を必要としない熱接着性ラベルなど。また、容器分野では、ブリキ缶や塩ビ缶に替わる防湿性紙管容器など、環境と暮らしに配慮した製品を数多く開発し、提供しております。

これからも、常に“次世代”への製品を生み出すべく研究開発を進めてまいります。



食品用アルミ箔加工製品・各種複合フィルム製品



食品用紙管容器



産業用紙管・紙管容器

環境関連製品

次代を見つめた製品を展開

ダイニック株式会社は社会の発展や、より豊かな暮らしの創造に貢献するさまざまな商品の開発に、鋭意取り組んでいます。そしてそのような新商品を社会に提供することが、事業を通じた社会への貢献につながるものと考えています。

当社では、「地球環境と生活環境へ配慮した商品」を環境関連商品と定義しています。

●脱塩ビ製品

紙刃、非塩ビファイル、オレフィン系クロス、紙製振り込みカード、EVAコンテナ 等

●再生紙、再生繊維、再生樹脂を使用した製品

FSC認証紙クロス、トナーカートリッジ再生、エコマーク接着芯地 等

●抗菌・消臭・防音機能を付与した製品

抗菌装幀用クロス、抗菌包装材、不織布消臭シート、不織布床防音材、消臭・抗菌壁紙 等

●健康・食品の鮮度保持に役立つ製品

耐水食品包材、食品鮮度保持剤、空気清浄機・加湿機用フィルタ材、医薬用素材 等

●電子部品として組み込まれて、省エネに貢献している製品

有機EL用乾燥材

●製造工程短縮に役立つ製品

車輻座席固定用面状ファスナー



EVAコンテナ材



空気清浄機用フィルタ材



消臭壁紙

FSC® / CoC認証

国際的な森林認証制度

FSC (Forest Stewardship Council®、森林管理協議会) は、世界中の森林を対象とし、環境保全の観点から適切で、社会的な利益にかなう、経済的にも継続可能な森林管理を推進することを目的としています。FSC認証には、FM認証(森林管理の認証)とCoC認証の二つの形態があり、その認証はFSC認定の認証機関が行ないます。

CoC認証(Chain of Custody、管理の連鎖)は、原料(認証された森林からの木材)から、生産・加工・流通にいたるすべての過程を追跡認証するものです。

当社は、FSCの定める基準を満たした製品および宣伝媒体にFSCのトレードマークを付与することにより、環境に配慮する企業としてFSC認証製品の推進に寄与します。

■ 東京本社・埼玉工場
2011年7月6日 認証取得

■ 滋賀工場
2017年4月18日 認証取得



責任ある森林管理
のマーク

(東京本社・埼玉工場・滋賀工場
FSC®/CoC認証取得)

蓄積された要素技術

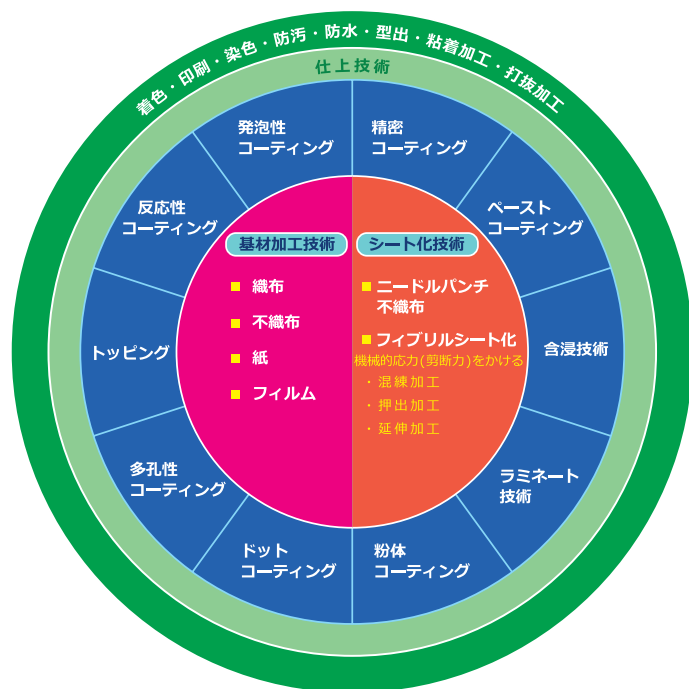
ダイニックの自信の裏付け

創業以来の一世紀に及ぶ年月、ダイニックはより理想的な製品を創ることに情熱を注いできました。理想を実現するための実力-技術力に重きを置く社風はその頃からのものです。

柔軟な発想と地道な研究の積み重ね。それらによって培われ、蓄積された土壌で、さらに新しい技術が生まれ、成長、融合をくり返したものが、今日のダイニックの実力の礎である要素技術なのです。

ダイニックの研究開発体制は、既存事業分野の拡大を主目的とする事業部技術部門と、各事業部間の技術の複合化による新規商品開発を担当する開発技術センターより構成され、それぞれが連携をとりつつ効率のよい開発を進めています。

要素技術を複合化させて開発してきた製品、そして技術力は、最前線で活躍する多くの企業の注目を受け、それら企業と手を結びあってさらなる飛躍を遂げた製品を誕生させています。ダイニックの要素技術は夢を具現化するための力強い武器として、研鑽され続けているのです。



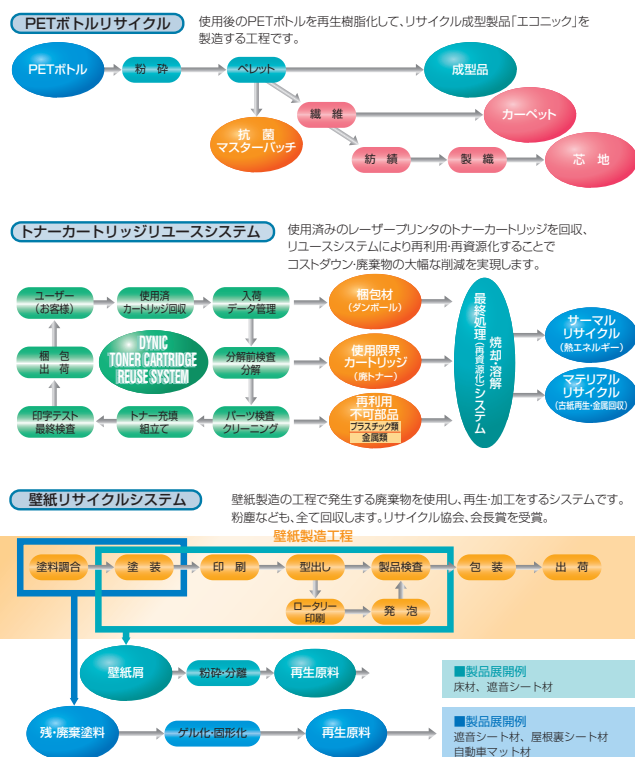
ダイニック 技術体系図

ダイニックのリサイクルシステム

未来の環境を今考える

現在までに築かれた文明の享受は、環境への負担の上に成り立ってきました。そして21世紀を迎えた今は、「現時点の快適さ」よりも、「将来も含めた地球規模の快適さ」を考える時代であることは、誰もが認めるところです。

ダイニックでは、「すべての企業活動において人間を尊重し、環境との共生を求めていく」というテーマを、現実的なものとしてグループ全体で取り組んでいます。いかにして省資源・再生利用・省エネルギーを最も効果的に実現するかを模索し、下記に図示した代表的なりサイクルシステムが生まれました。他にも環境に負担をかけない製品、あるいは環境保護に役立つ製品の開発などにも力を注いでいます。



国内事業

京都・西陣の地に産声をあげた日本クロス工業は、ダイニックと名を改め、今やグループ企業となり多角的に事業を展開しています。

ダイニックグループは国内に7社。その中核となっているのはもちろん、ダイニック株式会社です。製品の開発、生産はもとより、グループ全体を統合・支援しています。

経営戦略の要に位置しているのが、総合代理店ダイニック・ジュノ株式会社。グループで生産された製品の販売・流通を担っています。

紙及びクロス類の加工のエキスパートは、大和紙工株式会社。同社は、98年から人体にも環境にも安全な鮮度保持剤を製造・販売しています。

同じく紙加工のエキスパートに大平産業株式会社も挙げられます。大平産業は紙管・紙加工品の販売を行っている会社で、紙の他にも機械修理、金属彫刻などを手がけています。

一般には目に触れにくい重要な働きをしているのが、ニックフレート株式会社やダイニックファクトリーサービス株式会社です。

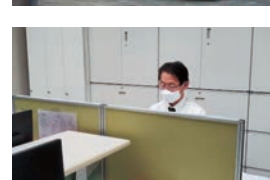
ニックフレートはダイニックの物流を一手に引き受け、仕上がった製品の運搬を担当しています。

ダイニックファクトリーサービスはグループの工場の保安安全と、産業廃棄物の処理・再生加工などを手がけています。同社はまた、園芸用品の仕入れ販売も取り扱っています。

そして環境と同じく、21世紀のテーマである情報分野に貢献するのが、オフィス・メディア株式会社です。情報関連製品の国内販売会社として位置付けられていますが、販売のみに留まらず、生分解製品などの独自製品の開発や、ビジネスフォームの企画設計の支援なども行なっています。

大野クロス株式会社はブッククロスをはじめとして通帳用クロス、商標布、各種人工・合成皮革の販売を行っています。

個性豊かなダイニックグループ各社は、ダイニック株式会社を中心に、未来に向けて、今日も意欲的な活動を続けています。





海外事業

ダイニクの海外進出は1967年の台湾工場設立を皮切りに、現在では世界11ヶ所に拠点をかまえています。ここではそれらの設立年順に、事業内容と特徴を追ってみましょう。

自由貿易都市・香港に DYNIC (HK) LTD. を設立したのは1979年。ここは東南アジア、特に中国への輸出と原材料の輸入、および現地市場の情報の収集基地としての機能を果たしています。

1988年には、アメリカ・オレゴン州にDYNIC USA CORP.を設立しました。DYNIC USA CORP. は、サーマルトランスファーリボン(熱転写リボン)や品質表示ラベル用素材シートなどの情報関連製品を製造・販売し、北米や中南米への輸出を担っています。

1990年にはヨーロッパへの進出の第一歩として、イギリス・ウェールズにDYNIC (UK) LTD. を設立しました。サーマルトランスファーリボン、品質表示ラベル用素材シートを加工・販売し、ヨーロッパやアフリカに輸出しています。

1991年には中国に、大連大尼克辦公設備有限公司を設立しました。インクリボンカセットおよび文具関連製品の組立・販売を行っています。

1993年には同じく中国に、中国市場と日本国内向けの接着芯地を製造・販売する目的で昆山司達福紡織有限公司を設立しましたが、情報関連

事業の新たな拠点を担ってまいります。

2002年には、中国・上海に達妮克国際貿易(上海)有限公司を設立。中国生産品のインクリボンカセット、接着芯地に加えて、車輻用内装材・家電用フィルタを、中国国内をはじめ、日本・東南アジア市場に販売しています。

2013年にはタイに、フィルタ用不織布濾材のブリーツ加工を行うTPCNIC CO., LTDを設立しました。

2018年には欧州大陸の拠点としてチェコ共和国にDYNIC (CZ) s.r.o.を設立。DYNIC (UK) LTD.と連携してサーマルトランスファーリボンを欧州大陸を中心に加工、販売しています。

2020年にはシンガポールに販売拠点としてDYNIC SINGAPORE PTE. LTD.を設立。サーマルトランスファーリボンやケアラベル等を中心にアセアン地域へ販売しています。

ダイニクは、これからも積極的にグローバルなグループ戦略を展開していきます。



工場紹介

滋賀工場

ハイテクと自然との調和をめざすモデル工場

滋賀工場は、琵琶湖水系の清らかな水と澄んだ空気が育んだ緑の山々に囲まれた、約35万平方メートルという広大な敷地を持つ工場です。ここではダイニック独自の高度なテクノロジーをバックボーンにして、ブッククロス、通帳用クロス、壁紙、床吸音材、有機EL用水分除去シート、織物芯地などのダイニックの主要製品の数々が生産されています。

豊かな自然環境の恩恵を受けたこの工場はまた、自身も自然環境との調和、およびその保全を重視してきました。排水処理を完備し、資源のリサイクル活用にも力を注ぎ、省エネ・無公害をテーマとしたモデル工場として高い評価を得ています。



滋賀工場内にある天文台「アストロパーク天究館」は1987年に開館しました。アストロパーク天究館は滋賀県最大の60cm反射望遠鏡等の天体観測機器があり、子供から大人まで天文学に親しめる施設になっています。



操業開始：1978年
所在地：〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀270
TEL 0749-48-1717
土地総面積：334,534m²
建築面積：34,264m²

主要製品：ブッククロス・壁紙・織物芯地・品質表示ラベル
インクジェット用印刷素材
有機EL用水分除去シート・床吸音材
ISO9001認証取得：1997年6月
ISO14001認証取得：1997年8月

埼玉工場

未来志向の高度な複合技術と最新のFAライン

ダイニックの東の生産拠点である埼玉工場は、技術開発に力をおいた未来指向の工場として稼動しています。高度な複合技術と最新の自動化・FA (Factory Automation) ラインを駆使して、情報業界の最先端を支えるハイテク製品から、生活に密着した産業製品まで幅広く網羅。その生産体制は6つの工場から成り立っており、紙クロス、ビニルクロス、ターポリン、インクリボン、FFC (ファインフィルムコーティング)、カーペット、不織布などバラエティに富んだ製品が造られています。地域・環境対策にも怠りなく、緑化推進や産業廃棄物のリサイクルシステムは、公共機関などからも高い信頼をもって認知されています。



操業開始：1964年
所在地：〒366-0831 埼玉県深谷市内ヶ島500
TEL 048-572-3311
土地総面積：132,815m²
建築面積：55,650m²

主要製品：紙クロス・文具／紙製品用クロス
ビニルクロス・インクリボン
ファインフィルムコーティング・自動車内装材
不織布・カーペット・ターポリン
ISO9001認証取得：1998年10月
ISO14001認証取得：1998年12月

開発技術センター

滋賀・埼玉の両工場は、それぞれ工場内に技術センターを設置しています。市場ニーズに密着して、新製品の開発および既存製品群のグレードアップを担う技術開発部隊です。





操 業 開 始 : 1937年
所 在 地 : 〒115-0051 東京都北区浮間5-4-44
TEL 03-3966-0171
土地総面積 : 15,888m²

王子工場

確かな品質管理で、信頼を得ています

王子工場は、アルミ箔蓋材と塗工紙を製造しています。アルミ箔蓋材は、英国より「レクタラシール(登録商標)」(加工アルミ箔による容器封緘材)の技術を導入、以来この分野での高いシェアを獲得してきました。これは、容器に高周波で加熱して接着する独自の技術であり、食品などの蓋材シール方法としては画期的なものとして、お客様の商品の品質保持に役立っています。また、塗工紙・フィルムの分野では、豊富なノウハウを基盤に最新の大型塗工機を駆使して、多様化するニーズに対応しています。常に時代を先取りした多彩な加工技術で、「つぎ」へのチャレンジを行なっています。

建 築 面 積 : 11,428m²
主 要 製 品 : アルミ箔蓋材と塗工製品
王子工場加工紙、ISO9001認証取得 : 2003年4月
王子工場加工箔、FSSC22000認証取得 : 2016年7月



富士工場

再生のできる環境に優しい製品を作り出しています

富士工場では、クリーンな作業環境と、厳しい品質管理のもとで食品用の紙管容器、産業用(発煙筒用)紙管などを製造しています。地球環境にやさしい素材の追求で、「つぎ」へのチャレンジを行っています。

操 業 開 始 : 1943年
所 在 地 : 〒417-0854 静岡県富士市宇東川西町1-2
TEL 0545-52-3885
土地総面積 : 5,473m²
建 築 面 積 : 3,992m²
主 要 製 品 : 食品用・産業用の紙管と紙管容器



真岡工場

管理のゆきとどいた作業環境で、安全な品質をお届けしています

真岡工場は、アルミ箔蓋材をはじめ、急速に多様化する蓋材のニーズに対し、アルミ箔加工の技術基盤を活かし、フィルムとの複合蓋材への対応を実現して、食品や産業用の軟包材分野で厚い信頼をいただいています。保有技術のいっそうの活用をはかり、「つぎ」へのチャレンジを行なっています。

操 業 開 始 : 1970年
所 在 地 : 〒321-4346 栃木県真岡市松山町16
TEL 0285-82-4121
土地総面積 : 18,534m²
建 築 面 積 : 6,278m²
主 要 製 品 : アルミ箔とフィルムの蓋材・軟包材
FSSC22000認証取得 : 2018年3月

会社概要

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION
創立	1919年8月18日
資本金	57億9,565万円
株式	東京証券取引所スタンダード市場
売上高	284億円(グループ含み389億円)
従業員	622名(グループ含み1,216名)
本社	東京本社 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル TEL03-5402-1811
京都本社事務所	〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26
営業所	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡、香港、シンガポール、 米国、タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ(グループ含む)
工場	滋賀、静岡、東京、埼玉、栃木、米国、タイ、英国、中国、 インドネシア、チェコ(グループ含む)
関連会社	国内7社、海外10社
事業内容	書籍装幀用クロス、文具紙工品用クロス、 各種ファンシー商品、コンピュータリボン、ファインフィルム、 銀行通帳用クロス、各種印刷・印字用素材、 名刺プリントシステム、有機EL用水分除去シート、 自動車内装材、各種フィルタ、不織布、衣料用接着芯地、 壁紙、カーペット、ターボリン、食品容器密封用アルミ箔・フィルム などの製造・加工および販売
URL	https://www.dynic.co.jp
役員	取締役会長 大石 義夫 取締役 坂本 啓 代表取締役社長 山田 英伸 取締役 塚田 一範 常務取締役 遠藤 浩 社外取締役 川崎 茂 常務取締役 北村 圭正 社外取締役 伊藤 祐子 常務取締役 佐々木範明 監査役 雨森 和彦 取締役 高木 哲雄 監査役 山下 隆司 取締役 中里 岳雄 社外監査役 長谷川啓一 取締役 新家 隆 社外監査役 奥谷 洋之

事業所一覧	
東京本社	〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル TEL03-5402-1811 FAX03-5402-3146
東京本社(王子分室)	〒115-0051 東京都北区浮間5-4-44 TEL03-3966-9395 FAX03-3966-9396
京都本社事務所	〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26
大阪支社営業所	〒542-0081 大阪府中央区南船場2-5-12(クリスタファイブビル) TEL06-6262-3010 FAX06-6262-3057
名古屋支社営業所	〒461-0004 名古屋市中区葵1-26-14(シノダビル) TEL052-979-2370 FAX052-979-2373
滋賀工場	〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀270 TEL0749-48-1717 FAX0749-48-1961
埼玉工場	〒366-0831 埼玉県深谷市内ヶ島500 TEL048-572-3311 FAX048-573-0137
王子工場	〒115-0051 東京都北区浮間5-4-44 TEL03-3966-0171 FAX03-3967-2581
富士工場	〒417-0854 静岡県富士市宇東川西町1-2 TEL0545-52-3885 FAX0545-52-3519
真岡工場	〒321-4346 栃木県真岡市松山町16 TEL0285-82-4121 FAX0285-82-4123

沿革

1919年	日本クロス工業(株)を京都市西陣に資本金100万円で設立
1929年	京都市西京極に天神川工場を竣工
1932年	タイプライターリボンの製造を開始
1937年	大平製紙(株)の前身・大平加工製紙(株)設立、王子工場竣工
1943年	大平加工製紙を大平製紙(株)に改称、富士工場を傘下に入れる
1948年	東京出張所を開設
1951年	株式を上場
1952年	東京工場誕生
1956年	不織布事業に進出
1964年	深谷工場竣工
1965年	「ステーフレックス」の技術契約を締結
1968年	「レクタシール(登録商標)」の技術契約を締結
1970年	真岡工場竣工
1973年	「ニックセブン」を開発
1974年	ダイニック(株)へ社名を変更
1978年	滋賀工場竣工
1979年	DYNIC(HK)LTD.(香港)を設立 「ニックセブン」繊維学会技術賞受賞
1987年	FFCフィルム「ALINDA」を発表 アストロパーク天究館を開設
1988年	DYNIC USA CORP.(米国)を設立
1990年	DYNIC(UK)LTD.(英国)を設立 オフィス・メディア(株)グループに参加
1991年	大連大尼克辦公設備有限公司(中国)を設立 名刺プリントシステム「ミスター・メイシマン」を発売
1993年	昆山司達福紡織有限公司(中国)を設立
1995年	大平製紙(株)と業務提携
1996年	埼玉工場竣工(東京工場を深谷工場へ集約移転)
1997年	滋賀工場、「ISO9001」「ISO14001」の認証を取得
1998年	埼玉工場、「ISO9001」「ISO14001」の認証を取得
2000年	有機EL用水分除去シートを開発
2002年	達妮克国際貿易(上海)有限公司を設立
2003年	王子工場加工紙、「ISO9001」の認証を取得 大平製紙(株)を吸収合併。同社は社内大平カンパニーとして 当該事業を継承
2008年	カンパニー制を廃止、大平カンパニーを完全統合
2011年	東京本社・埼玉工場、FSC®/CoC認証を取得 東京本社、およびグループ2社、新橋新御成門ビルに移転
2013年	TPCNIC CO., LTD.(タイ)を設立
2014年	PT. DYNIC TEXTILE PRESTIGE(インドネシア)を設立
2016年	王子工場加工箔、「FSSC22000」の認証を取得
2018年	真岡工場、「FSSC22000」の認証を取得 DYNIC(CZ) s.r.o.(チェコ)を設立
2020年	DYNIC SINGAPORE PTE.LTD.(シンガポール)を設立 『ダイニック100年史』を刊行